

専修学校の教育の振興に関する提言について

○中小企業団体全国大会決議（抜粋）

2. 中小企業の人材育成・確保・定着対策

（2）若年者の人材確保・定着及び、就職氷河期世代の求職者が中小企業に就職する場合の事業主に対する支援策を拡充すること。

地域中小企業が新規学卒者等の若年労働者を確保するに当たって、地域の中小企業の魅力発信、学生等と中小企業のマッチング機会の増大等の人材確保支援策を拡充・強化することが必要である。さらに、離職率の高い若年労働者の地域中小企業での定着支援策の強化も必要である。

（5）外国人留学生の就職先の拡大に合わせて就労支援を行うとともに、中小企業へのマッチング支援を行うこと。

法務省では、専門学校に通う外国人留学生を大学卒の留学生並みとし、就職先を大幅に広げる方針としている。これまで専攻分野に限定されていたものが、国の認定校卒業生は関連が薄い分野でも就職可能となる。そこで、外国人留学生の就労支援を行うとともに、卒業後の就職先に中小企業を選んでもらえるよう、就職説明会やインターンシップを通じた中小企業とのマッチング支援を行うこと。

・中小企業は人材不足に悩んでおりスペシャリストを育成する専修学校の役割は、社会的に意義がある。

・社会人や留学生の受入を促進することで、中小企業の採用に繋がることに期待する。

・地域中小企業との連携や専修学校の認知度向上を積極的に行ってほしい。

・地域の学びの場を提供する専修学校の役割は重要で、質保証・向上により一層の振興発展を図ってほしい。